

平成 29 年度 第 2 回 学校評議員会 議事録

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 19 日 (月) 15:35～16:35
- 2 場 所 千厩高等学校 会議室
- 3 出席者 学校評議員 藤原 美喜男 氏 (欠席)、菅野 秀夫 氏、佐々木 謙一 氏
伊藤 一志 氏、小野寺 勝 氏
学校職員 校長、副校長、総務主任、教務主任、生徒指導担当 (代理出席)
進路指導主事、農場長兼生産技術科主任、産業技術科主任

4 学校概況説明 (資料説明)

5 質 疑

【評議員】 問題行動により特別指導がされているが、どのような内容であったか。

【学 校】 回答は割愛

【評議員】 家庭学習の状況が思わしくないが、スマホ使用が原因ではないか。

【学 校】 学校評価では部活動との関連性で分析しているが、確かに家庭でのスマホ使用はあり、かなりの使用時間である。スマホ使用により学習がおろそかになっている実態はある。

【評議員】 子どもの家庭学習の状況を保護者はどのように捉えているのか。また、環境を整えているか。これらを学校でどのように捉えているかお聞きしたい。

【学 校】 保護者にも本校生徒のスマホの使用実態はお知らせし、併せて、保護者向けの研修も行っている。保護者の皆さんも子どものスマホ使用には悩みを感じている。

【評議員】 職員の年齢構成は、どのようであれば良いとお考えかお聞きしたい。

【学 校】 バランスが良いことは望ましいが、県内の職員の年齢構成をみても困難な状況にある。

【評議員】 家庭学習時間の少なさにも関わるが、是非、生徒たちが互いに切磋琢磨するよう場面や指導をお願いしたい。

【評議員】 携帯電話の使用、SNSを含めて、どのような情報モラルの学習をしているかお聞きしたい。

【学 校】 教職員が、1年生を対象に、使用ルール及びマナーについて指導している。しかしながら、教職員が機器の取扱や新たな利用方法等に追いつかない状況がある。

【学 校】 同様に、保護者の方も使用方法や利用方法に追いついていない実態がある。

家庭で子どもさんへの指導に役立てていただくために、昨年度に続き、PTA総会後に、保護者を対象に、県の総合教育センターよりスマホをお借りし、ネット環境を整え実際に起こるであろうトラブルや弊害を体験していただいている。

【学 校】 本校生徒の携帯電話使用規定は、「登校後、電源を切り鞆にしまう。放課後、学校を出た後、再び電源を入れる。」としている。

【評議員】 スマホに関して、子どもは、まず親の言うことを聞かない。

そこで、子どもたち自身がスマホ問題に対峙する、例えば、生徒会活動などでSNS等のトラブル防止を考えさせることが大事と考えている。

また、スマホ問題は家庭の問題と捉えている。使用やそのトラブルはついて、家庭で親子一緒に考えることが大事と感じている。

【学 校】 本校では生徒からの提案で、SNSに関する「標語大賞」や「漫画大賞」を生徒会が取り組み、トラブルやそのリスクについて情報発信を行った。

【評議員】 残念ながら、家庭での養育環境は大変厳しい。そのような中、きめ細かな指導をされていることに感謝している。

保護者の中には、クレームもあろうかと思われるが、どのように対応されているか、お聞きしたい。

【学 校】 クレームはそれほど多くなく、あっても速やかに対応している。初動が大切と考えている。

【評議員】 高校生活の諸活動とおして、「自分たちが学んだことで地域に貢献したい」と話した3年生がいた。頼もしく感じている。

また、「おはようございます」の後に、「ありがとうございます」と返してくれた生徒がいた。感動した。ほんの一言でがんばれる人間もいれば、心ない一言で傷つく人間もいる。引き続き、このような人間を育てていただきたい。

【評議員】 千厩高校ならではの特徴を生かし、学校運営に努めていただきたい。

【評議員】 諸資料を拝見し、課題に対して適切に対応されていると感じている。

千厩高校は、地域への就職に意識が高くよく校名を耳にする。地域に根ざした学校であると感じている。